

2010年度 学校自己評価システムシート（私立 立教小学校）

目指す学校像	キリスト教信仰にもとづき、自己と他者を大切にする児童を育てる学校を目指す。
--------	---------------------------------------

重点目標	1 神様に喜ばれる子どもの育成（教育目標） 友だちのよいところがわかる子ども 自分のよいところを表現できる子ども 広い視野でものを見られる子ども すべてに感謝できる子ども 2 教育環境の充実 3 児童を支える体制の推進
------	---

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (3 月 現 在)		
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策
1	教育目標への到達 (1) 教育への取り組み (2) 学校行事の充実	(1) ①建学の精神の理解 ②キリスト教への理解 ③指導目標の設定 (教科研究部の目標) ④カリキュラムの改善 ⑤授業方法の改善 ⑥家庭学習の奨励 ⑦教員のスキルアップ (2) ・体験学習の充実	(1) ①「立教単元」などで学習 ②礼拝(週1)、聖書の授業 祈りで始まり祈りで終わる学校生活 行事の前後の祈り ③教科研究部、各教科部会での研究、 部会発表 ④各教科部会での研究、発表 ⑤各教科部会での研究 ⑥家庭学習の明示と確認 日常、長期休み ⑦各種研修会の活用 私立学校、キリスト教学校教育同盟 (2) ・キャンプ、遠足、運動会、校外学習(フ ィールドワーク、グローバルエクササイズなど)	・①～⑦について実施できたか。 ・充実したプログラムを実施できたか。	①1～4年生生活、社会で実施 ②基本的に低学年、高学年ごとに毎週礼拝を 実施。行事の前後にお祈りを実施 ③全体会(3回)実施 ④新学習指導要領の研究 ⑤教科ごとの研究授業実施 ⑥毎日の宿題の連絡と確認 ⑦キリスト教学校教育同盟研修会の当番校と して全員参加 (2) すべてのプログラムを実施	B A B A B A A A	・「立教単元」内容の再考。 ・礼拝やお祈りを大切にする姿勢 を持つよう今後も指導する。 ・今後も子ども一人一人がいきる 教育を目指すため研究を進める ・学年末に教科の主任会で振り返 りを実施する。 ・今年度も教科ごとに実施する。 ・家庭との連携を今後とる。 ・国公立学校の研修会にも参加す る。 ・プログラムの更なる充実をはか るよう委員会で検討する。
2	教育環境の充実 (1) 運営と管理	①健康管理体制について ②施設・設備の充実	①校医、心のケアセンターとの連携 ②教室の施設改善(上下黒板、視聴覚 機器の導入:50インチテレビ、実物 投影器) ・生活科の畑の活用	①校医、心のケアセンターと の連携がとれたか。 ②授業で活用できたか。	①校医来校(毎週水曜日) ケアセンターでの相談 ②授業での活用状況	A A	・今後もケアセンターとの連携を はかる。 ・視聴覚機材、畑の更なる活用を はかる。
3	児童を支える体制の推進 (1) 児童の生活指導について (2) 保護者への対応 (3) 安全について	①生活・進学指導の充実 ②開かれた学校づくりの推進 ③危機管理・安全対策につい て	①児童面談、 ②保護者面談、保護者からのアンケ ート(公開) 学年別PTA、面談、 学年・学級通信 ③ICタグ、保護者の携帯へのメール発 信(非常連絡など)	①児童とのコミュニケーション がとれたか。 ②保護者とのコミュニケーション がとれたか。 ③ICタグ、携帯メールを有効に 活用できたか。	①児童との面談(生活、進学など) ②保護者面談(1・2年:每学期) (3～6年:1・2学期) 学年別PTA各学期に1回 ③ICタグ、メール送信を有効に利用できた。	A A A	・今後も機会を見つけ、児童との 面談を持つようつとめる。 ・1・2学期の面談(1、2年生 は各学期)各学期のPTA、学 年、学級通信を通して保護者 とのコミュニケーションをはかる ・ICタグを有効に利用する